

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

4月7日(月)・5月9日(金) かがくのとも4月号「スーパーじっけんマシン アワサール」

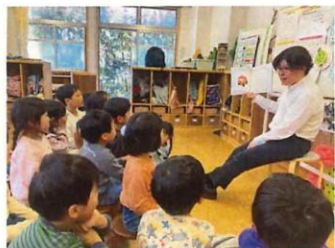
テーマ設定の理由

自分たちで様々な物を合わせたら何になるか考えて絵で表現したり、創造力を膨らませる

活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・アワサールの紙、色鉛筆

探究活動の実践・子どもの姿・振り返り



絵本が始まると「(ぬいぐるみが)食べられちゃうのかわいそう」「タイヤもボールなのかな?」「鏡は食べられるのかな?」と気になることが次々に出てきます。



中でも、絵本に出てくる人物が誰だろう?と気になるようで「この絵本描いてるunpisさんじゃない?」「ポスターに描いてある人じゃない?」と考えます。



「笑っちゃうくらい気になる!」「unpisさんに会いに行きたい!」と、どういう人が分からず、気になったことからunpisさんに会ってみたい!絵本作ってる福音館に聞いてみよう!と決めました。



「自分たちでもアワサールを作りたい」と絵を描いて、お昼寝前にアワサール発表会を実施!!



桃と棒で『桃飴』、ヘラクレスオオカブトと車で『ヘラクレスカー』タイヤと絵本で『タイヤ絵本』など様々なものを合わせて楽しんでいました。



みんなが気になるunpisさんはどんな人なんだろう!?

絵本を読みながら様々な疑問が出てきました。同時に「うんぴすが名前!?!」「unpisさんに会って直接話が聞きたい」「unpisさんに会ってみたい」とこれを考えた作者のunpisさんのことが気になる子どもたち。福音館の方に問い合わせることにしました。

ついに！！unpisさんにお会いすることができました！！！！



「unpisさんはどんな方だろう？」「男の子かな？女の子かな？」「外国の人かな？」とわくわくした気持ちを隠せない子どもたち。



unpisさんのお仕事のことや絵本の絵について「ガラスのぶどうの中身は食べられますか？」「お花も風船だと植木鉢の土も風船？」など気になることを質問しました。



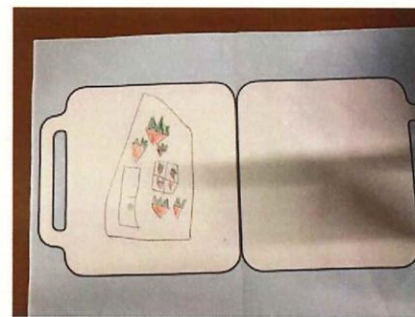
福音館の方もいらしてワークショップ！みんなで自分だけのアワサールを描いて作りました。いちごクッションでいちごクッション、針金と冷蔵庫でグネグネ冷蔵庫、などと次々に思いつきます。



自分たちの作ったアワサールを発表して見せ合いました。「木にLEGOの特徴を合わせて…ウィンウィンウィンウィン、チーン！LEGOの木ができました！」



「いちごと家を合わせて・・・」



いちごハウス！！」



unpisさんとおひるごはんも一緒に食べ、すっかり仲良しになった子どもたちです。

かがくのとも4月号『スーパーじっけんマシンアワサール』をクラスで楽しみ、一人ひとりに配布すると、いろんな疑問が生まれたり、オリジナルのアワサールが思いついたり、子どもたちの関心が深まってきました。「絵本を作ったunpisさんに聞きたい！」という声から、実際にお話を伺ったことで“未来には本当にこんなマシンができるのかな！？”と子どもたちもわくわくするような貴重な経験となりました。